

# かいたくファンド

追加型投信／内外／株式

月次レポート  
(販売用資料)  
2012年11月30日基準

## ファンド概況

|      |            |       |        |
|------|------------|-------|--------|
| 基準価額 | 9,271円     | 純資産総額 | 451百万円 |
| 設定日  | 2008年4月22日 |       |        |
| 信託期間 | 無期限        |       |        |
| 決算日  | 毎年2月25日    |       |        |

## 期間別騰落率(%)

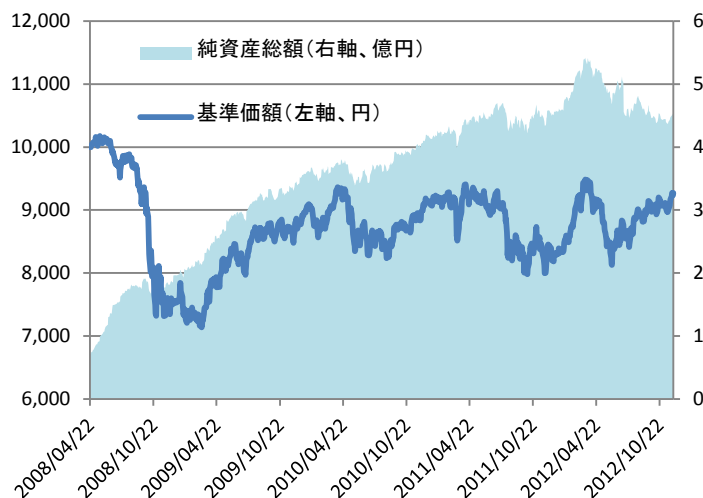
| 1ヵ月  | 3ヵ月  | 6ヵ月  | 1年    | 3年   | 設定来   |
|------|------|------|-------|------|-------|
| 2.23 | 4.13 | 9.21 | 12.76 | 9.33 | -7.29 |

## 分配金(円)

直近3期を表示

| 2期<br>( '10/2/25 ) | 3期<br>( '11/2/25 ) | 4期<br>( '12/2/25 ) | 累計 |
|--------------------|--------------------|--------------------|----|
| 0                  | 0                  | 0                  | 0  |

## 基準価額と純資産総額の推移



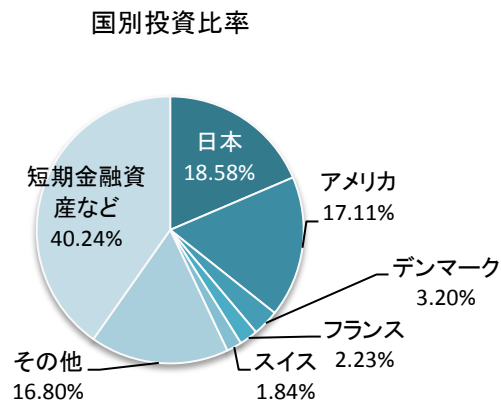
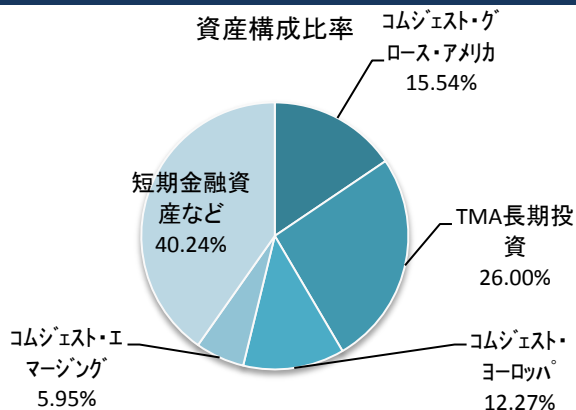
## 運用コメント

11月の世界の株式市場は、前半の米国大統領選挙や中国共産党の書記長ポストの交代等を見極めたいとの動きが続いたものの、ほぼ予想通りの結果に安堵した展開となりました。また、日本では自民党の安部総裁の日銀へのインフレ目標政策発言を市場が好感し日経平均株価は1ヶ月間で5.8%上昇しました。為替市場でもドル、ユーロ共に対円で約3%強の円安傾向となった事で、MSCIワールド指数は、円換算で4%強上昇しました。

毎年、年末近くになると、来年の経済予測が発表されますが、OECD(経済協力開発機構)では、日米欧の2013年の成長率はすべて下方修正している事が気になります。日本は1.5%⇒0.7%へ引下げられました。主な要因としては、海外経済の減速で年後半の輸出や生産が落ち込んでいる上に、復興需要の縮小などで前回予測よりもかなり厳しい見方となっています。米国も同様に2.6%⇒2.0%へ引き下げられています。主な要因としては、失業率が7.8%と高止まりが予想されていて改善は難しそうだと見られています。ユーロ圏では、0.9%⇒-0.1%となり2年連続でマイナス成長になると予測されています。一方、中国の成長率は12年は7.5%と過去10年で最低ですが、2013年には内需が堅調で8.5%まで回復する予想です。結果的には、来年も日米欧の低成長に対して中国の高成長が維持されるとの見通しですが、中国の経済も先進国からの投資がピークを過ぎていることや沿海部と内陸部との格差問題も考えますと内需へのシフトは簡単ではありません。現在、唯一の明るい材料は、東南アジアの経済で、12月1日付の日経新聞の報道によると、主要6カ国の10月の自動車の販売台数は前年同月比で58%増加の33万台と通年では350万台に迫る勢いで、日本車のシェアが8割と高い東南アジア市場が、中国市場の販売急減を補う形となっています。

11月のかいたくファンドの運用結果に関しましては、日本株の急上昇で組入れ比率が最大のTMAやドルとユーロの円安傾向により、外国株式に投資するファンドの上昇を反映して+2.23%の上昇となりました。ファンドの組入れ状況は、引き続き欧米の株価が高値圏にあることから、米国株式に投資するファンドの組入れ比率を若干低下させました。今後、東南アジアに投資するファンドの組入れを検討しています。

## ポートフォリオの状況



## かいたくファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率

(組入銘柄数: 143銘柄)

| 順位 | 銘柄名                         | 事業内容                     | 組入比率  | 組入れファンド名         |
|----|-----------------------------|--------------------------|-------|------------------|
| 1  | キーエンス                       | ファクトリーオートメーション用センサの製造    | 1.27% | TMA長期投資          |
| 2  | ミスミグループ本社                   | 機械加工製品の企画・販売             | 0.91% | TMA長期投資          |
| 3  | NOVOZYMES A/S-B SHARES      | 産業用酵素製品を供給(デンマーク)        | 0.91% | TMA長期投資          |
| 4  | ダイキン工業                      | 空調事業でシェア世界一              | 0.88% | TMA長期投資          |
| 5  | ファナック                       | 工作機械装置で世界首位              | 0.83% | TMA長期投資          |
| 6  | エア・ウォーター                    | 総合ガス企業                   | 0.83% | TMA長期投資          |
| 7  | SAP AG                      | 世界第3位のアプリケーション・ソフトウェア会社  | 0.82% | コムジエスト・ヨーロッパ     |
| 8  | INDITEX                     | スペインのアパレルメーカー『ZARA』など    | 0.81% | コムジエスト・ヨーロッパ     |
| 9  | キヤノン                        | 映像・事務機器、ステッパーなどを製造       | 0.81% | TMA長期投資          |
| 10 | 本田技研工業                      | 二輪・四輪・汎用機を製造する世界的メーカー    | 0.81% | TMA長期投資          |
| 11 | デンソー                        | トヨタグループに属する自動車部品メーカー     | 0.81% | TMA長期投資          |
| 12 | Ecolab Inc                  | 殺菌洗浄や食品衛生業務を展開           | 0.79% | コムジエスト・グロース・アメリカ |
| 13 | リンナイ                        | 家庭用ガスコンロ、給湯器などを製造・開発     | 0.78% | TMA長期投資          |
| 14 | DASSAULT SYSTEMES SA        | フランス最大のソフトウェア会社          | 0.66% | コムジエスト・ヨーロッパ     |
| 15 | L'OREAL                     | フランスの世界最大の化粧品会社          | 0.65% | コムジエスト・ヨーロッパ     |
| 16 | LINDE AG                    | ドイツの化学工業メーカー             | 0.64% | コムジエスト・ヨーロッパ     |
| 17 | Google Inc.CI A             | 検索エンジン世界シェアトップ           | 0.62% | コムジエスト・グロース・アメリカ |
| 18 | Johnson & Johnson           | 製薬ヘルスケア部門で世界第2位          | 0.62% | コムジエスト・グロース・アメリカ |
| 19 | ESSILOR INTERNATIONAL       | フランスの光学製品メーカー。日本ではココンと合併 | 0.61% | コムジエスト・ヨーロッパ     |
| 20 | BioMarin Pharmaceutical Inc | アメリカの治療用酵素製造するバイオ企業      | 0.57% | コムジエスト・グロース・アメリカ |

## ファンドの特色

### ①「世界投資」

当ファンドは、運用資産を長期的に大きく成長させるため、日本だけでなく成長を続ける世界へ投資を行います。世界へ投資することで、世界経済のダイナミックな成長の恩恵を得ることが可能となります。

### ②「分散投資」

当ファンドは、為替変動や政変・戦争など世界の株式市場に投資した場合のさまざまなリスクを抑えるために複数のファンドに投資を行うファンド・オブ・ファンズの投資手法を利用することで、国、地域、銘柄、産業などを分散し、時間(投資するタイミング)も分散します。

### ③「長期投資」

当ファンドは、短期的な運用成績の追及は目標とせず、長期的な運用リターンを最大化することを追求します。具体的には長期的な価値以上に割安となった国、地域、銘柄、産業などを投資対象とするファンドへの投資を行い長い時間軸で運用リターンを最大化する「バイ&ホールド」を基本的な戦略をします。但し、株価が割高であると判断した時や時価のボラティリティ(変動)が大きくなると判断した時は、長期的な運用リターンを最大化するために現金比率を最大限高めて基準価額のボラティリティを抑えます。

### ④「世界中から厳選したファンド」

当ファンドは、基準価額の変動を抑え長期間にわたり安定的な成長を行うファンドや、長期間にわたりインデックスを上回るようなファンド、長期的に有望な国、地域、産業などを投資対象とするファンドを厳格な基準に基づいて選別して投資対象のファンドとします。

### ⑤「アセットアロケーション」

当ファンドは、世界の景気サイクルに沿って、投資する国、地域、産業などを大きく切り替えていくことで、資産配分の調整を行います。また、キャッシュも重要なアセットアロケーションのクラスと考えており、マーケット環境によっては積極的にキャッシュ比率を最大限引き上げる場合もあります。

## ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

**投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。**

基準価額の変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

＜お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください＞

## ファンドにかかわる費用

|                  |  |
|------------------|--|
| 購入・換金手数料         | ありません  |
| 信託財産留保額          | 換金申込日の翌々営業日の基準価額に0.2%の率を乗じて得た額   |
| 運用管理費用<br>(信託報酬) | 年率0.7350%(税抜き0.7000%)<br>組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.6±0.2%(概算)  |
| その他費用・<br>手数料    | 監査費用、租税、信託事務の処理および販売にかかわる資料等に要する諸費用を純資産総額の年率0.105%(税抜き0.10%)を上限として投資信託財産から支払うことができます。<br>*これらの費用は運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 |

## 業務管理部からのお知らせ

### 【目論見書更新のお知らせ】

11月下旬に投資信託説明書(交付目論見書)を改訂いたしました。今回は、基準価額の推移、運用実績の更新など軽微なものとなりますので、目論見書の不交付に同意していないお客様のみにお送りしています。今後、目論見書の交付が不要なお客様は、不交付の同意書にてお手続きをお願いします。また、目論見書はご請求いただければお送りいたします。ホームページでもご確認くださいませので、こちらから([http://www.kaitakufund.jp/renew\\_detail.php?id=76](http://www.kaitakufund.jp/renew_detail.php?id=76))ご覧下さい。

|                                      | 12/28(金) | 12/29(土)～1/3(木) | 1/4(金)                               |
|--------------------------------------|----------|-----------------|--------------------------------------|
| 通常営業:9:00～17:00<br>売買注文受付:9:00～15:00 |          | 休業日             | 通常営業:9:00～17:00<br>売買注文受付:9:00～15:00 |

### 【年末年始の営業について】

### 【特定口座の源泉徴収区分の変更について】

特定口座をご利用いただいているお客様の、2013年適用分源泉徴収区分の変更を受付しております。「源泉徴収あり・なし」の変更をご希望のお客様は、お電話にて「特定口座源泉徴収選択届出書」をご請求くださいますようお願い致します。

### 【特定口座の継続手続きについて】

特定口座制度では、法令に基づいて特定口座の残高がなくなった日から2年を経過したその年の12月31日までにご利用のなかった特定口座は、その翌年1月1日に特定口座廃止届出書の提出があったものとみなされ、当該特定口座を廃止することになっています。引き続き特定口座の利用をご希望されるお客様は、お電話にて「特定口座取引継続届出書」をご請求ください。なお、書類のご提出を含め、弊社での手続きが年内に完了するようお願い致します。

### 【毎月つみたてサービスをご利用のお客様へ】

新規申込・引落口座の変更および購入金額の変更をご希望の場合には、それぞれ締切日がございます。

| 引落開始月   | 新規申込・引落口座<br>変更締切日 | 引落金額変更・<br>中止締切日 | 引落日          | 約定日           |
|---------|--------------------|------------------|--------------|---------------|
| 平成25年1月 | 受付終了               | 12月18(火)         | 平成25年1月7日(月) | 平成25年1月18日(金) |
| 平成25年2月 | 12月26日(水)          | 平成25年1月23日(水)    | 平成25年2月5日(火) | 平成25年2月18日(月) |

「かいたくファンド」は外国籍のファンドに投資しているため、海外の主な株式市場や金融機関の休業日には、換金(解約)のお申込ができませんのでご注意ください。

| お申込不可日         | 不可日の理由                      |
|----------------|-----------------------------|
| 2012年12月25日(火) | ニューヨーク・ルクセンブルグ・ユーロネクストパリ休業日 |
| 2012年12月26日(水) | ルクセンブルグ・ユーロネクストパリ休業日        |

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります)に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

## 今後のセミナーのご案内

|                                  |  |  |
|----------------------------------|--|--|
| 12月15日(土)<br>15:00~17:00         | 『長期投資で未来を語ろう』勉強会<br>宮内 鋭 (当社代表)                      | 【会場】 当社 会議室<br>東京都千代田区三番町 5-37<br>三番町葵ビル<br>【費用】 無料<br>【定員】 15名                |
| 12月23日(日)<br>14:00~16:00         | 『未来を拓く長期投資の力』勉強会<br>澤上 篤人氏 (さわかみ投信会長)<br>宮内 鋭 (当社代表) | 【会場】 札幌市産業センター ルームC<br>札幌市白石区東札幌5条 1-1-1<br>『東札幌』駅 徒歩7分<br>【費用】 無料<br>【定員】 40名 |
| 2013年<br>1月12日(土)<br>10:00~12:00 | 第62回<br>『なにわで咲かそう!長期投資の輪!!』<br>宮内鋭 (当社代表)            | 【会場】 大阪府中央公会堂 第4会議室<br>大阪市北区中之島 1-1-27<br>『淀屋橋』駅 徒歩4分<br>【費用】 無料<br>【定員】 30名   |

当社が運用する各ファンドの運用方針や、みなさまがお持ちの素朴な疑問など、お気軽にご質問ください。  
お待ちしております。

【お申込み・お問合せ】 TEL 03-3222-1220 または [gyoumu@clover-am.co.jp](mailto:gyoumu@clover-am.co.jp)

### クローバー「はんぶん」コラム

◆選挙戦の真っ最中です。今回の選挙は現行制度になってから最多の政党数・立候補者数とのこと。マニフェストの実現性が話題になりますが、候補者がどういう方向を見ているのかを確かめるためにマニフェストは必要です。

◆運用ビジネスに携わる者としては経済政策、とりわけ証券税制関連に興味を持つわけですが、相も変わらず小手先かつ複雑な制度で証券投資は根付かないですし、株価も上がりません。「これならリスクを取ってでも運用したほうがよさそうだ」と思えるような税制にしてほしいものです。例えば… ①税率は7%恒久化 ②7%すべて地方税 ③「積み立て投資」控除(保険のように)などです。まあ、現実はこちらとは逆行しているので実現はしないでしょうが、それでも将来のために運用を止めるわけにはいきません。

◆先日ニュースを見ていたら野田総理がこう言っていました。「安倍さんが言っている金融緩和は恐ろしい。そんなことして喜ぶのは株と不動産を持っている人だけだ」と。ということは!? 当社(別に当社だけとは限りませんが)のファンドをお持ちの皆さまは安倍さんが総理になったほうが良いということでしょうか!? ◆金融緩和については、「もっと大胆に緩和するべきだ」という積極派と「過度な緩和は制御不能のインフレを招く」という消極派の両論がありますが、両者とも景気を上向かせたいという考えは一致するはず。日本の個人金融資産は1,500兆円ありますが肝心なのはお金の「動き方」。お金はよく「血液」に例えられますが、これは「止まることなく、隅々まで常に流れていなければならない」という意味と、もうひとつ、「表に出てはいけない」という意味もあると筆者は考えています。血が表に出るといことは出血しているということですから、適切な止血の処置をしなければいけません。お金が表に出るといことは、それを使う人間の心理が「まずお金」で「モラルやマナー、期待や信頼」という大切な意識・感情が置き去りにされている状況を言うのだらうと考えます。実体を飛び越してしまうという意味では「バブル」にも通じます。

◆現状の日本経済はバブルやインフレ状態ではありませんが、いつ方向転換するかはわかりません。いつ方向転換してもいいように準備しておくこと、人間社会の将来を見通す洞察力と先見性を磨きたいと思います。

2012年12月10日(H)